

# 小学校の外国語活動に関する現状調査

## 《小学校 対象》

### 調査報告

#### 調査実施概要

1. 調査委託機関

(財)日本英語検定協会

2. 調査実施機関

(財)日本生涯学習総合研究所

3. 調査テーマ

国公立小学校における外国語活動に関する現状調査

4. 調査対象

全国の小学校(国公立)

5. 調査目的

平成 23 年度より、小学校高学年に外国語活動が導入されるが、学校現場においてカリキュラムの編成、指導方法、教材の選択などについて、どのような問題を抱えているのか、現状を明らかにする。

6. 調査期間

平成 22 年 9 月から平成 22 年 10 月

7. 調査方法

送付、回収ともに郵送によるアンケート方式

8. 送付数・回収結果

調査対象	送付数	回収数	回収率
国・公立小学校	5,000 件	1,530 件	30.6%

問1 貴校のこれまでの外国語活動の取り組みについて、あてはまるもの1つを選んでください。

本調査のサンプル数1530校のうち、もっとも多かったのは「いずれの区分にもあてはまらない」で1140校(74.5%)であった。次いで「平成21年度における文部科学省指定の『教材の活用・評価に関する実践研究校』」98校(6.4%)、「都道府県・市区町村の研究指定校(研究内容:英語教育/小・中連携/その他)」70校(4.6%)、「文部科学省指定の研究指定校(研究内容:英語教育/小・中連携/その他)」41校(2.7%)、「平成19年・20年度における文部科学省指定の『小学校英語活動等国際理解活動拠点校』」39校(2.5%)であった。

選 択 肢	校数	N=1530
①文部科学省指定の研究指定校(研究内容:英語教育/小・中連携/その他)	41	2.7%
②平成19年・20年度における文部科学省指定の「小学校英語活動等国際理解活動拠点校」	39	2.5%
③平成21年度における文部科学省指定の「教材の活用・評価に関する実践研究校」	98	6.4%
④都道府県・市区町村の研究指定校(研究内容:英語教育/小・中連携/その他)	70	4.6%
⑤上記の分類に当てはまらない	1140	74.5%
⑥無効値	33	2.2%
⑦無回答	109	7.1%

問2 今年度の外国語(または英語)活動の年間実施数について、あてはまるもの1つを選んでください。

外国語活動の実施時間については、低学年(1・2年生)、中学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)の3グループで段階があり、学年が上がるほど実施時間が増えていることがわかる。

低学年(1・2年生)の実施時間では「4~11時間」がもっとも多く、両学年とも35%台、次いで「0時間」が両学年とも23.9%であり、「1~3時間」が両学年とも15%弱で続く。「12~22時間」が、両学年とも9.9%、「23~35時間」が1年生3.3%、2年生3.5%、「36時間以上」は両学年とも1%に満たない。低学年ではまだ実施をしていないか、実施しても11時間以下の学校が7割強を占めていることがわかる。

中学年(3・4年生)も、実施時間の最大値は「4~11時間」にあり、3年生31.5%、4年生31.1%であるが、「0時間」が3年生19.5%、4年生18.6%と低学年に比べて少なくなっている。かわりに、「12~22時間」が3年生17.8%、4年生18.2%と低学年に比べ約倍の実施率を示している。さらに、「23~35時間」の実施をしている学校も3年生で9.3%、4年生で10.0%に及んでいる。

高学年(5・6年生)になると、「23~35時間」の外国語活動を実施している学校が8割をこえ、低学年、中学年とは大きな違いがみられる。実施時間11時間以下の学校は両学年とも2%以下である。6年生では「0時間」の学校はなく、すべての学校でなんらかの外国語活動を実施している。

学年	0時間	1~3時間	4~11時間	12~22時間	23~35時間	36~70時間	71時間以上	わからない	無効値	無回答	合計
1年	23.9%	14.8%	35.4%	9.9%	3.3%	0.6%	0.1%	0.3%	0.1%	11.8%	100%
2年	23.9%	14.8%	35.6%	9.9%	3.5%	0.6%	0.0%	0.4%	0.1%	11.2%	100%
3年	19.5%	10.2%	31.5%	17.8%	9.3%	1.0%	0.1%	0.3%	0.1%	10.2%	100%
4年	18.6%	10.4%	31.1%	18.2%	10.0%	1.1%	0.1%	0.3%	0.1%	10.0%	100%
5年	0.3%	0.2%	1.5%	6.7%	84.1%	5.8%	0.3%	0.1%	0.1%	1.1%	100%
6年	0.0%	0.2%	1.4%	6.6%	83.9%	5.9%	0.3%	0.1%	0.1%	1.6%	100%

問3 2011年度から5・6年生に対して外国語活動の必修化が定められていますが、貴校では4年生以下でも、なんらかの活動（国際理解活動など）を実施したいと考えていますか。あてはまるもの1つを選んでください。

3・4年生では、「総合的な学習の時間の中での実施を予定」が42.3%、「学校裁量の時間の中での実施を予定」が19.7%、「特別活動などの時間での実施を予定」が3.9%、「研究指定校等の独自のカリキュラムでの実施を予定」が2.9%であり、約7割の学校で実施を予定している。一方、「実施しない」(10.9%)、「わからない」(12.2%)とする回答もみられた。

1・2年生では、「学校裁量の時間の中での実施を予定」が35.6%でもっとも多く、「特別活動などの時間での実施を予定」が22.0%、「研究指定校等の独自のカリキュラムでの実施を予定」が2.6%で、約6割の学校で実施を予定している。一方で「実施しない」(16.4%)、「わからない」(13.1%)という回答も多く、3割に及んでいる。

[3・4年生]

選 択 肢	回答数	N=1530
①学校裁量の時間の中での実施を予定	301	19.7%
②総合的な学習の時間の中での実施を予定	647	42.3%
③特別活動などの時間での実施を予定	60	3.9%
④研究指定校等の独自のカリキュラムでの実施を予定	44	2.9%
⑤実施しない	167	10.9%
⑥わからない	187	12.2%
⑦その他	82	5.4%
⑧無効値	31	2.0%
⑨無回答	11	0.7%

[1・2年生]

選 択 肢	回答数	N=1530
①学校裁量の時間の中での実施を予定	543	35.6%
②特別活動などの時間での実施を予定	322	22.0%
③教育課程特例校・研究開発学校等の独自のカリキュラムでの実施を予定	38	2.6%
④実施しない	247	16.4%
⑤わからない	218	13.1%
⑥その他	123	7.7%
⑦無効値	6	0.2%
⑧無回答	33	2.4%

問4 貴校では、どなたが外国語活動を担当していますか。関わっている人すべてを選んでください。

HRT（担任）と、ALT（外国語指導助手）がほぼ9割の学校で外国語活動を担当している。

複数回答であり、HRTとALTの両方にチェックした学校が1247校と全体の81.5%と、大半を占め、両者が協働していることがわかる。JTE（英語担当教員）（15.4%）、地域のボランティア（11.9%）と続く。

選 択 肢	回答数	N=1530
①JTE（英語担当教員）	236	15.4%
②国際理解教育担当教員	135	8.8%
③HRT（担任）	1390	90.8%
④ALT（外国語指導助手）	1352	88.4%
⑤地域のボランティア	182	11.9%
⑥英会話学校などの講師	46	3.0%
⑦その他	156	10.2%
⑧無効値	0	0.0%
⑨無回答	3	0.2%

問5 「英語ノート」に関して、あてはまるものすべてを選んでください。

「英語ノート」の使用状況については、「毎時間使用している」（56.2%）、「週に1回程度使用している」（25.2%）、「月に1回程度使用している」（14.6%）と、ほとんどすべての学校で使用しており、「全く利用していない」は、わずか1.9%である。

「英語ノート」に関する意見では、「将来、配布がなくなったら困る」が45.0%でもっとも多く、次いで「学校間で内容が統一されるのでありがたい」が35.6%となっている。「独自のカリキュラムがあるため、不必要」とする学校はわずか3.9%にすぎず、現状では「英語ノート」に頼る学校が多いようだ。

選 択 肢	回答数	N=1530
①毎時間利用している	860	56.2%
②週に1回程度、利用している	385	25.2%
③月に1回程度、利用している	223	14.6%
④全く利用していない	29	1.9%
⑤参考資料としてのみ利用している	149	9.7%
⑥学校間で内容が統一されるのでありがたい	544	35.6%
⑦将来、配布がなくなったら困る	689	45.0%
⑧独自のカリキュラムがあるため、不必要	60	3.9%
⑨将来、配布の必要性は感じない	29	1.9%
⑩その他	37	2.4%
⑪無効値	0	0.0%
⑫無回答	11	0.7%

問6 今年度、貴校の先生は外国語活動に関する研修に参加していますか（または2011年3月までに参加する予定がありますか）。あてはまるものすべてを選んでください。

「校内研修に参加」(67.8%)をはじめ、「市区町村の教育委員会の研修に参加」(61.9%)、「都道府県の教育委員会の研修に参加」(47.8%)、「教員有志の研修会に参加」(14.9%)、「民間企業の研修に参加」(4.1%)となっており、「参加(実施)の予定はない」(2.7%)と「わからない」(1.8%)を除くほぼ95%の教員がなんらかの研修に参加している。複数回答可で、1人の教員が平均で2つの研修に参加していることがわかる。

選 択 肢	回答数	N=1530
①校内研修に参加	1038	67.8%
②教員有志の研修会に参加	228	14.9%
③都道府県の教育委員会の研修に参加	732	47.8%
④市区町村の教育委員会の研修に参加	947	61.9%
⑤民間企業の研修に参加	62	4.1%
⑥参加(実施)の予定はない	42	2.7%
⑦わからない	28	1.8%
⑧その他	41	2.7%
⑨無効値	1	0.1%
⑩無回答	2	0.1%

問7 貴校において、今年度に教員研修の実績または予定がある場合についてうかがいます。

問7-1 今年度実施される教員研修の教材について、あてはまるものすべてを選んでください。

教員研修で使用の教材は、「文部科学省制作『英語ノート』・『英語ノート指導資料』」が59.6%でもっとも多く、次いで「文部科学省制作『小学校外国語活動研修ガイドブック』」(37.8%)、「文部科学省制作『英語ノート』準拠版電子黒板用ソフトウェア(CD-ROM)」(35.8%)と、文部科学省制作の教材を使用している学校が多い。文部科学省制作のもの以外では、「外部の教育機関や講師が準備した教材」(19.1%)、「市販の書籍やDVDなどの教材」(16.9%)、「貴校オリジナルの教材」(14.2%)などが続く。

\*英語ノート、同CD-ROMの併用状況など、アンケート原本参照。

選 択 肢	回答数	N=1530
①教材は使用しない、または決まっていない	137	9.0%
②文部科学省制作「小学校外国語活動研修ガイドブック」	578	37.8%
③(独)教員研修センター制作 DVD「小学校に外国語活動がやってきた!」・ ⑩無回答 Enjoy English Together!	153	10.0%
④貴校オリジナルの教材	218	14.2%
⑤市販の書籍やDVDなどの教材	259	16.9%
⑥外部の教育機関や講師が準備した教材(外部に委託)	292	19.1%
⑦文部科学省制作「英語ノート」・「英語ノート指導資料」	912	59.6%
⑧文部科学省制作「英語ノート」準拠版電子黒板用ソフトウェア(CD-ROM)	548	35.8%
⑨貴教育委員会オリジナルの教材	158	10.3%
⑩その他	52	3.4%
⑪無効値	0	0.0%
⑫無回答	112	7.3%

問 7-2 今年度に実施される教員研修はどなたが指導していますか。関わっている人すべてを選んでください。

教員研修の指導者は、「指導者養成研修を受けた中核教員」(43.6%)がもっとも多く、「市区町村の指導主事」(33.1%)、「ALT(外国語指導助手)や留学生」(25.6%)、「研究指定校などで外国語(英語)活動や英語教育の指導経験のある教員」(17.7%)と続く。

選 択 肢	回答数	N=1530
①市区町村の指導主事	506	33.1%
②研究指定校等で外国語(英語)活動や英語教育の指導経験のある教員	271	17.7%
③指導者養成研修を受けた中核教員	667	43.6%
④大学教員等の有識者	111	7.3%
⑤ALT(外国語指導助手)や留学生	392	25.6%
⑥その他	213	13.9%
⑦無効値	0	0.0%
⑧無回答	126	8.2%

問 7-3 貴校において、特に必要と思う研修内容はどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。

必要と思われる研修内容は、「指導法に関すること」が75.2%と最も多く、次いで「教員自身の英語力向上に関すること」(45.1%)、ALT(外国語指導助手)や日本人の講師(またはボランティア)との連携に関すること(38.2%)、「評価方法に関すること」(37.9%)と続く。

選 択 肢	回答数	N=1530
①指導法に関すること	1151	75.2%
②カリキュラムなど指導計画に関すること	476	31.1%
③ALT(外国語指導助手)や日本人の講師(またはボランティア)との連携に関すること	584	38.2%
④教員自身の英語力向上に関すること	690	45.1%
⑤評価方法に関すること	580	37.9%
⑥その他	13	0.8%
⑦無効値	0	0.0%
⑧無回答	49	3.2%

問 8 貴校では、教員がパソコンやインターネットを自由に利用することができますか。あてはまるもの1つを選んでください。

教員のパソコンの利用環境は、「全員が同時に利用できる」(79.1%)、「教員がゆずりあって利用できる」(19.8%)で、ほぼ100%の教員が学校のパソコンを利用できる環境である。

選 択 肢	回答数	N=1530
①全教員が同時に利用できる	1210	79.1%
②教員がゆずりあって利用できる	303	19.8%
③利用できない	1	0.1%
④その他	6	0.4%
⑤無効値	1	0.1%
⑥無回答	9	0.6%

問 9 貴校では、児童がパソコンやインターネットを自由に利用することができますか。あてはまるもの1つを選んでください。

児童のパソコン利用環境は、「授業の中で利用している」が97.0%で、ほぼ全員の児童がパソコンを利用できる環境にある。

選 択 肢	回答数	N=1530
①授業の中で利用している	1484	97.0%
②放課後や夏休みなどに利用を許可している	4	0.3%
③児童用のパソコン環境はない	4	0.3%
④その他	11	0.7%
⑤無効値	22	1.4%
⑥無回答	5	0.3%

問 10 電子黒板についてうかがいます。

問 10-1 貴校では、電子黒板を利用していますか。あてはまるもの1つを選んでください。

電子黒板については「すでに利用している」が65.2%で、「今後購入(利用)予定あり」(4.7%)と合わせると、7割の学校が電子黒板の利用に積極的といえる。「現時点で購入(利用)予定はない」(23.0%)と「わからない」(6.6%)の消極的な回答は3割弱にとどまった。

選 択 肢	回答数	N=1530
①すでに利用している	998	65.2%
②今後購入(利用)予定あり	72	4.7%
③現時点で購入(利用)予定はない	352	23.0%
④わからない	101	6.6%
⑤無効値	3	0.2%
⑥無回答	4	0.3%

問 10-2 問 10-1 で 1 を選んだ場合、電子黒板でどのような教材（ソフト）を使っていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

電子黒板での使用教材については、約 3/4 以上の 78.7%が「英語ノート」付属のソフトを使用」と回答しており、「自作の教材（本・プリントなど）」（27.3%）、「インターネット上のソース」（19.6%）がこれに続く。

選 択 肢	回答数	N=998
①自作の教材（本・プリントなど）	272	27.3%
②英語ノート付属のソフトを使用	785	78.7%
③電子黒板専用の市販教材（国内版）	141	14.1%
④電子黒板専用の市販教材（外国版）	20	2.0%
⑤インターネット上のソース	196	19.6%
⑥その他	39	3.9%
⑦無回答	12	1.2%

問 11 外国語活動における児童への評価をしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

児童への評価は「授業内での観察・記録」が 94.1%とほとんどの教員が回答として選択している。続いて「児童への意識調査（活動は楽しいか、等）」（43.4%）、「ワークシートやノートの記入結果」（39.6%）、「児童の自己評価（どこができなかったか、等）」（39.1%）、「発言の内容や回数のチェック」（22.7%）と続く。テストなどで評価するものは「授業内での小テストの結果」（1.0%）、「定期テスト（学期に1回、等）の結果」（0.5%）と、ごく少数であった。複数回答可であり、1校平均、2～3項目を選択した。

選 択 肢	回答数	N=1530
①授業内での観察・記録	1439	94.1%
②児童への意識調査（活動は楽しいか、等）	664	43.4%
③発言の内容や回数のチェック	347	22.7%
④ワークシートやノートの記入結果	606	39.6%
⑤児童の自己評価（どこができなかったか、等）	598	39.1%
⑥授業内で行う小テストの結果	15	1.0%
⑦定期テスト（学期に1回、等）の結果	7	0.5%
⑧その他	26	1.7%
回答	15	1.0%



問 12 外国語活動に対する保護者の反応について、あてはまるものすべてを選んでください。

外国語活動に対する保護者の反応については、「好意的（積極的）な保護者が多い」とするものが 49.7%でもっとも多く、次いで「あまり反応はない・特に感じることはない」が 38.4%となっている。

保護者の反応は「ある」と「ない」にはほぼ二分され、反応がある場合は好意的なものであることがわかる。

「内容等に関して質問を受けることがある」(5.1%)、「期待とのギャップで不満がある保護者が多い」(1.8%)など、踏み込んだうえでの反応がまだ少ないのと、「あまり反応はない・特に感じることはない」(38.4%)の結果から、この設問の回答結果は、本格的導入が始まる以前の状況であるからという観測もできそうだ。

選 択 肢	回答数	N=1530
①好意的（積極的）な保護者が多い	760	49.7%
②内容等に関して質問を受けることがある	78	5.1%
③期待が大ききように感じる	289	18.9%
④不安を感じている保護者が多いように思う	59	3.9%
⑤期待とのギャップで不満がある保護者が多い	27	1.8%
⑥好意的でない（消極的な）保護者が多い	3	0.2%
⑦あまり反応はない・特に感じることはない	588	38.4%
⑧その他（⇒記述回答はp103）	34	2.2%
⑨無回答	13	0.8%

問 13 年間 35 時間の外国語活動を実施するにあたり、貴校では以下の面で環境は整っていると思いますか。それぞれについてあてはまるもの（1 から 5 の中で）1 つを選んでください。

外国語活動実施に際しての環境の整備状況については以下のようにまとめられる。

- ①「十分に整っている」「ある程度整っている」が 70%をこえるもの  
「ALT の小学校訪問頻度（人件費を含む）」(75.1%)
- ②「十分に整っている」「ある程度整っている」が 60%をこえるもの  
「児童が外国語活動で使用する教材」(64.0%)  
「教師が外国語活動で使用する教具」(63.2%)  
「外国語活動実施に対する教員の積極性」(61.0%)
- ③「十分に整っている」「ある程度整っている」が 50%をこえるもの  
「年間指導計画・指導案」(59.7%)  
「ALT などの指導者に関する費用」(55.2%)  
「外国語活動担当教員の配置」(51.2%)
- ④「十分に整っている」「ある程度整っている」と「まったく整っていない」「あまり整っていない」が、ほぼ拮抗しているもの  
「外国語活動を行うための教室」…「整っている」(50.6%) > 「整っていない」(47.1%)  
「学校外での研修会・勉強会などの情報」…「整っている」(50.4%) > 「整っていない」(47.5%)  
「校内研修を企画・運営できる教員」…「整っている」(49.9%) > 「整っていない」(48.0%)  
「年間指導計画を作成できる教員」…「整っている」(48.1%) < 「整っていない」(49.4%)
- ⑤「まったく整っていない」「あまり整っていない」が 50%をこえるもの  
「英語の文法・表現・発音等について相談できる人」(66.9%)  
「進学先中学校との情報交換の体制」(65.0%)  
「同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制」(64.4%)  
「5・6年生と1～4年生の担当教員の情報交換体制」(63.5%)  
「外国語活動の指導法について相談できる人」(63.4%)

- 「教師が使用する教具を購入する費用」 (57.4%)
- 「学校外での研修会・勉強会参加の仕組みやサポート体制」 (57.3%)
- 「過去に外国語活動を指導した経験のある教員」 (55.8%)
- 「教師が研修に参加する費用」 (54.0%)
- 「校内研究会・研修会の実施体制」 (51.4%)

以上を概観すると、外国語活動を実施する環境は、ALT や、教材など基本的な部分ではほぼ整っている状態といえそうである。

ただし、指導者や、相談できる人など、スキルをもった人材の不足、および教員間や他校との情報交換体制の不備がまだみられるといえそう。

### 問 13-1 外国語活動担当教員の配置

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	200	13.1%
②ある程度整っている	583	38.1%
③あまり整っていない	431	28.2%
④まったく整っていない	264	17.3%
⑤どれもあてはまらない	42	2.7%
⑥無効値	2	0.1%
⑦無回答	8	0.5%

### 問 13-2 過去に外国語活動を指導した経験のある教員

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	97	6.3%
②ある程度整っている	539	35.2%
③あまり整っていない	651	42.5%
④まったく整っていない	203	13.3%
⑤どれもあてはまらない	29	1.9%
⑥無効値	0	0.1%
⑦無回答	11	0.7%

### 問 13-3 年間指導計画を作成できる教員

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	87	5.7%
②ある程度整っている	649	42.4%
③あまり整っていない	641	41.9%
④まったく整っていない	114	7.5%
⑤どれもあてはまらない	22	1.4%
⑥無効値	2	0.1%
⑦無回答	15	1.0%

問 13-4 校内研修を企画・運営できる教員

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	91	5.9%
②ある程度整っている	673	44.0%
③あまり整っていない	638	41.7%
④まったく整っていない	96	6.3%
⑤どれもあてはまらない	18	1.2%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	14	0.9%

問 13-5 ALTの小学校訪問頻度（人件費を含む）

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	449	29.3%
②ある程度整っている	701	45.8%
③あまり整っていない	295	19.3%
④まったく整っていない	65	4.2%
⑤どれもあてはまらない	11	0.7%
⑥無効値	1	0.1%
⑦無回答	8	0.5%

問 13-6 外国語活動実施に対する教員の積極性

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	109	7.1%
②ある程度整っている	825	53.9%
③あまり整っていない	520	34.0%
④まったく整っていない	52	3.4%
⑤どれもあてはまらない	10	0.7%
⑥無効値	1	0.1%
⑦無回答	13	0.8%

問 13-7 英語の文法・表現・発音等について相談できる人

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	78	5.1%
②ある程度整っている	411	26.9%
③あまり整っていない	752	49.2%
④まったく整っていない	271	17.7%
⑤どれもあてはまらない	13	0.8%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	5	0.3%

問 13-8 外国語活動の指導法について相談できる人

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	70	4.6%
②ある程度整っている	470	30.7%
③あまり整っていない	771	50.4%
④まったく整っていない	199	13.0%
⑤どれもあてはまらない	12	0.8%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	8	0.5%

問 13-9 年間指導計画・指導案

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	147	9.6%
②ある程度整っている	766	50.1%
③あまり整っていない	519	33.9%
④まったく整っていない	79	5.2%
⑤どれもあてはまらない	8	0.5%
⑥無効値	2	0.1%
⑦無回答	9	0.6%

問 13-10 児童が外国語活動で使用する教材

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	135	8.8%
②ある程度整っている	845	55.2%
③あまり整っていない	494	32.3%
④まったく整っていない	43	2.8%
⑤どれもあてはまらない	6	0.4%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	7	0.5%

問 13-11 教師が外国語活動で使用する教具

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	124	8.1%
②ある程度整っている	843	55.1%
③あまり整っていない	502	32.8%
④まったく整っていない	47	3.1%
⑤どれもあてはまらない	5	0.3%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	9	0.6%

問 13-12 外国語活動を行うための教室

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	254	16.6%
②ある程度整っている	520	34.0%
③あまり整っていない	435	28.4%
④まったく整っていない	286	18.7%
⑤どれもあてはまらない	23	1.5%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	12	0.8%

問 13-13 校内研究会・研修会の実施体制

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	101	6.6%
②ある程度整っている	617	40.3%
③あまり整っていない	643	42.0%
④まったく整っていない	144	9.4%
⑤どれもあてはまらない	13	0.8%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	12	0.8%

問 13-14 5・6年生と1～4年生の担当教員の情報交換体制

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	85	5.6%
②ある程度整っている	444	29.0%
③あまり整っていない	720	47.1%
④まったく整っていない	251	16.4%
⑤どれもあてはまらない	20	1.3%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	10	0.7%

問 13-15 同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	71	4.6%
②ある程度整っている	398	26.0%
③あまり整っていない	689	45.0%
④まったく整っていない	297	19.4%
⑤どれもあてはまらない	62	4.1%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	13	0.8%

問 13-16 進学先中学校との情報交換の体制

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	75	4.9%
②ある程度整っている	414	27.1%
③あまり整っていない	693	45.3%
④まったく整っていない	302	19.7%
⑤どれもあてはまらない	31	2.0%
⑥無効値	1	0.1%
⑦無回答	14	0.9%

問 13-17 学校外での研修会・勉強会などの情報

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	86	4.3%
②ある程度整っている	705	46.1%
③あまり整っていない	636	41.6%
④まったく整っていない	91	5.9%
⑤どれもあてはまらない	18	1.2%
⑥無効値	1	0.1%
⑦無回答	13	0.8%

問 13-18 学校外での研修会・勉強会参加の仕組みやサポート体制

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	42	2.7%
②ある程度整っている	572	37.4%
③あまり整っていない	727	47.5%
④まったく整っていない	150	9.8%
⑤どれもあてはまらない	27	1.8%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	12	0.8%

問 13-19 教師が使用する教具を購入する費用

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	52	3.4%
②ある程度整っている	542	35.4%
③あまり整っていない	677	44.2%
④まったく整っていない	202	13.2%
⑤どれもあてはまらない	44	2.9%
⑥無効値	1	0.1%
⑦無回答	12	0.8%

問 13-20 教師が研修に参加する費用

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	43	2.8%
②ある程度整っている	552	36.1%
③あまり整っていない	620	40.5%
④まったく整っていない	206	13.5%
⑤どれもあてはまらない	91	5.9%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	18	1.2%

問 13-21 ALTなどの指導者に関する費用

選 択 肢	回答数	N=1530
①十分に整っている	254	16.6%
②ある程度整っている	590	38.6%
③あまり整っていない	351	22.9%
④まったく整っていない	105	6.9%
⑤どれもあてはまらない	204	13.3%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	26	1.7%

問 14 現在、外国語活動において、貴校で問題や課題であると感じていることはありますか。下記の中であてはまるものがある場合には5 つまで選び、優先度が高い順から 1, 2, 3…というように < >に番号を書いてください。

外国語活動における問題や課題については、「指導内容・方法」がもっとも多く 39.4%、次いで「評価内容・方法」(33.2%)、「指導者(担当教員)の質・技術」(32.4%)、「教員研修」(23.2%)、「中学校との連携」(22.6%)、「教材・教具」(22.5%)が続く。

各選択肢に、優先度を加えてポイント(優先度の高い順に5……1点として計算)でみると、「指導内容・方法」が3655ポイントで1位、次いで「指導者(担当教員)の質・技術」が2729ポイントで2位、「評価内容・方法」が2409ポイントで3位、「指導計画」(1514ポイント)、「教員研修」(1510ポイント)、「教材・教具」(1477ポイント)、「指導者(担当教員)の確保・採用」(1276ポイント)が続く。優先度を加味すると、外国語活動における問題や課題については順位が変わってくる。

選 択 肢	ポイント	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>
①指導内容・方法	3655	377	252	161	110	59
②指導計画	1514	86	127	123	74	59
③評価内容・方法	2409	151	179	185	149	85
④教材・教具(英語ノート含む)	1477	52	114	139	128	88
⑤指導者(担当教員)の質・技術	2729	214	212	164	130	59
⑥指導者(担当教員)の確保・採用	1276	123	87	66	42	31
⑦教員研修	1510	82	96	112	130	120
⑧保護者の意見(期待等)	61	0	4	7	5	14
⑨中学校との連携	1246	75	61	92	99	153
⑩高学年担当教員と中・低学年担当教員の活動に対する意識の差・違い	1107	63	82	61	83	115
⑪外国語活動に関する情報(不足)	528	14	27	54	53	82
⑫設備の改善・維持	755	41	54	59	48	61
⑬予算の確保(不足)	778	52	52	51	46	65
⑭特になし	76	11	1	3	1	6
⑮その他	196	32	4	4	3	2

※優先度順にポイントを付け集計 (<1>=5ポイント、<2>=4ポイント～<5>=1ポイント)

問 15 2011年度からの外国語活動必修化に向けて、貴校では5・6年生での年間35時間の外国語活動導入がスムーズに進むと思いますか。想定されるもの1つを選んでください。

「スムーズに導入できると思う」が45.2%と最も多く、「課題はあるが、導入の見通しは立っている」が41.3%で続く。ほとんどの学校で導入にむけ、準備ができているといえそうだ。「課題があり、導入には不安が残る」とするものは、わずか9.0%であった。

選 択 肢	回答数	N=1530
①スムーズに導入できると思う	691	45.2%
②課題はあるが、導入の見通しは立っている	632	41.3%
③課題があり、導入には不安が残る	137	9.0%
④わからない	36	2.4%
⑤その他	25	1.6%
⑥無効値	2	0.1%
⑦無回答	7	0.5%